



平成 23 年度 (第 30 回) 九州学生選手権競技  
(第 10 回) 九州女子学生選手権競技

競技報告・最終R (2011/06/09)

写真と記事：GUK

男子は柴田求仁貴(日本経済大2年)  
女子は東 葵(熊本県立大2年)  
**男女ともに逆転で初優勝**



初優勝した柴田求仁貴と東葵

男女の九州学生選手権最終日は9日、長崎県大村市の大村湾カントリー倶楽部ニューコース(男子 6827 ヤード、女子 5820 ヤード=パー72)で行われ、男子は首位に1打差、2位でスタートの柴田求仁貴(日本経済大2年)が通算イーブンパーの144で逆転初優勝した。

柴田は最終日、イーブンパーでのスタート。先行する1アンダー首位の並河利隆(同4年)を追いかけた。前半の5番パーディーでダブルボギーの並河に逆転2打差をつけると、その後も安定したショット、パットで逃げ切り、結果的には2日間、パープレーで回った柴田が逆転2打差をつけて初優勝した。並河は連覇を逃した。

3位は3オーバー、147で玉城幸弥(同2年)、さらに2打差の5位に通事享康(同4年)と嘉数光倫(東海大4年)の2人が入った。

なお、寺本拓矢(東海大1年)が2番ホール(178ヤード、パー3)でホールインワンを記録した。

## 柴田、うれしい初タイトル

「昨日の自分のショットでは逆転は難しいかな、と思っていたんですけど。正直うれしいです」。

逆転を期した最終日はいきなりのボギースタート。しかし、あわてなかった。というのも、ラウンド前、指導を仰いでいる九州アマチュア優勝者・時松源藏(筑紫ヶ丘=沖学園高)の父親・慊藏さんにアドバイスを求めた結果、「クラブをまっすぐ引いて、まっすぐ出す。基本に忠実ということを言われた」。それで、修正できた、という。

ラウンド中は、優勝を狙う2人の4年生に挟まれ、「ピリピリムードだった」。だから、



柴田求仁貴の  
ショット

「自分のゴルフに徹した」と言う。それが奏功したのだろう。最終ホールでショットを曲げてダブルボギーとしたものの、不安はなかったようだ。

福岡市の出身。ゴルフは中学からだ、「ゴルフをたくて沖学園中(福岡市)に入学した」という。ジュニア時代は目立った成績を残しておらず、今回の九州学生が公式競技で獲得した最大のタイトル。

この後は、日本学生選手権。「(九州の覇者として)頑張ります」と答えてくれた。(K)



連覇を逃した  
並河利隆

**2位の並河利隆** 距離が合わない、ショットはぶれる。何もかもが悪かった。いいところがなかった。アマチュア最後の年だし、気合を入れて臨んだんですけど、不甲斐ない。

## 女子

女子は首位に5打差の2位でスタートした東葵(熊本県立大2年)が最終ホールで逆転、通算8オーバー、152で初優勝した。

東はインスタートの前半、2アンダーとして首位スタートの小西葵(日本経済大1年)をとらえた。後半は2人のマッチプレーの様相となり、8番終了時点で通算7オーバーで並んだ。そして、最終の9番(パー5)。小西はアプローチに失敗した上、4パットのトリプルボギーとまさかの展開となり、このホールをボギーで上がった東に逆転を許した。

2位は小西で、さらに4打差、14オーバーの3位に前年優勝の伊覇一希(同3年)で、連覇は成らなかった。

## 東 葵対決を制する

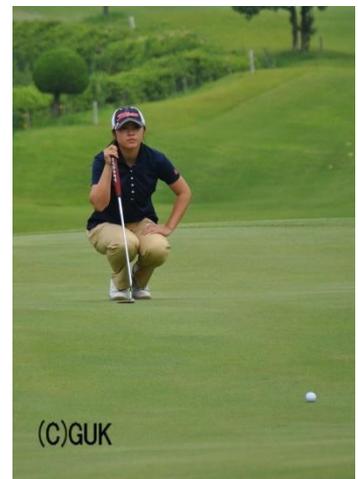


優勝した東葵のショット

先行する小西葵に前半で並んだ時、「後半は自分で伸ばさないと」と気合を入れ直したという。東は攻める気持ちを保ち続け、デッドヒート。そして、最終9番グリーン上、小西がまさかの4パットのトリプルボギー。大逆転劇に「うれしい、信じられない」と東だった。

大会前、「まさか自分が優勝争いするなんて思わなかった」という。初日終わって5打差にも、「チャンスがあれば狙う」のは当然で、そのために取った作戦は、「粘るラフは無理をしないこと」。この日は、得意のドライバーが好調で、フェアウェイを外したのは数えるほどだったが、終わってみれば、我慢比べに勝った東でもあった。

熊本市の出身で、ゴルフを始めたのは小4からだ、「7年間ほどやめて、大学に入った昨年秋に再開した」そう。ゴルフスクールに通い、練習。この大会も、知り合いに勧められて出場したが、「信じられない」を繰り返した。



パットに泣いた小西葵

**逆転され2位の小西葵** ショットは良かったんですけど、パットが打ちきれなかった。入る気がしなかった…

**連覇ならなかった伊覇一希** 前半40をたたいて相手(東)を楽にさせてしまったかな。ショットが悪いなりに耐えていたんだけど…。結果は結果です。



平成 23 年度 (第 30 回) 九州学生選手権競技  
(第 10 回) 九州女子学生選手権競技

競技報告・第 1 R (2011/06/08)

写真と記事 : GUK

## 並河利隆(日本経済大4年)が連覇へ向け首位発進

1 打差の 2 位に柴田求仁貴(日本経済大2年)

初タイトルへ嘉数光倫(東海大4年)も意欲



連覇へ向け好発進の並河利隆

男子第 30 回、女子第 10 回の九州学生選手権競技は 8 日、第 1 ラウンドを行った。

男子の学生選手権(6827 ヤード、パー72)は 72 人(欠場 5 人)が出場。前年優勝の並河利隆(日本経済大 4 年)がただ 1 人のアンダーパーの 1 アンダー、71 で回り初日単独首位に立った。1 打差の 72 で柴田求仁貴(同 2 年)が 2 位。さらに 1 打差の 1 オーバー、3 位タイに嘉数光倫(東海大 4 年)と今村勇貴(日本経済大 1 年)の 2 人が並んだ。

2 オーバーの 5 位タイに小柳拓也(長崎国際大 2 年)と通事享康(日本経済大 4 年)の 2 人で、5 オーバーの 10 位タイまでに 13 人がひしめく混戦模様となった。

並河はスタートでいきなりボギー。すぐさま取り返したが、アウトを 2 バーディー、3 ボギー、1 トリプルボギーと苦戦。後半ボギーなしの 5 バーディーで、結局はただ 1 人アンダーパーをマークしてホールアウトした。

2 位の柴田は 7 バーディーを奪ったものの、3 ボギー、2 ダブルボギーでパープレー。1 打差の 3 位タイに付けた嘉数は 4 バーディー、2 ダブルボギー。最終日の逆転にかける。



2 位につけた柴田求仁貴

### 選手の話

**首位発進の並河利隆** (出入りの多いゴルフに)前半の 4 オーバーを後半(ボギーなしの 5 バーディー)よくばん回できた。練習ラウンドも良かったし、今日もバタバタしたけどいいイメージで上がったので、(連覇に向け)がんばります。

**2 位の柴田求仁貴** (7 バーディーを奪ったものの、3 ボギー、2 ダブルボギー)ぐちゃぐちゃだった。とにかく(ドライバーが)曲がった。優勝狙える位置だから、当然狙います。

**3 位タイの嘉数光倫** 試合ごとに課題も修正できていた。けど、今日はアイアンのショットが悪く、チャンスがあまりなかった。アマ最後の年だし、タイトルは欲しいですね。



逆転にかける  
嘉数光倫

# 女子は小西葵(日本経済大1年)が2オーバーで首位

連覇を狙う伊覇一希(同3年)と東葵(熊本県立大2年)が4打差で2位タイにつける



初日単独首位に立った小西葵

10人(欠場2人)が出場した女子選手権(5820ヤード、パー72)は、小西葵(日本経済大1年)が1バーディー、3ボギーの2オーバー、74で単独首位。東葵(熊本県立大2年)と、前回優勝の伊覇一希(同3年)が5打差の2位タイに並んだ。

## 選手の話

**小西葵** 前半、5m以内に付けたチャンスが3回もあったのに、1つも取れなかったのが悔しい。(5打差には)逃げ切りたい。

**伊覇一希** (バーディーなしの7ボギーに)ドライバが一曲がった。ラフは粘ってクラブが抜けなし、グリーンは速い。(5打差は)耐えて頑張ります。



5打差2位発進の伊覇一希



平成 23 年度 (第 30 回) 九州学生選手権競技  
(第 10 回) 九州女子学生選手権競技

競技報告・大会前日 (2011/06/07)

写真と記事：GUK

## 九州学生 No.1は誰の手に？

### 大村湾CCを舞台にあす開幕

九州学生選手権優勝カップ



男女の九州学生選手権競技は8、9日の2日間、長崎県大村市の大村湾カントリー倶楽部ニューコース（男子 6827ヤ、女子 5820ヤ＝パー72）で行われる。

第30回を迎えた男子は計77人、第10回的女子は12人がエントリー。競技は2日間、全員36ホールストロークプレー（予選カットなし）で実施。

前回大会は男子は並河利隆（日本経済大4年）、女子は伊覇一希（同3年）がともに初優勝、日本経済大（福岡）勢がアベック制覇した。今大会は男子で連覇を狙う並河に、前の週の九州アマチュア選手権で通算2オーバー、4位と健闘した嘉数光倫（東海大4年）、同21位タイの地元の山下大介（長崎国際大3年）、高校時代に九州ジュニア3位タイの成績がある上畠鳳人（宮崎日大高一東海大3年）らが絡んだ優勝争いが予想される。

女子は伊覇と、09年優勝で昨年2位の今村真由美（東海大3年）の争いか。

会場の大村湾CCニューコースは、大村湾を眼下にする丘陵コース。うねるフェアウエーにクリークや池が絡むアメリカンタイプのコース。グリーンもアンジュレーションがあり、戦略性も高い。

8日の初日は午前8時、アウト、イン同時にスタートする。女子は午前8時からのインスタート。